

令和6年度吉井川・旭川・高梁川 水害タイムライン 活動報告

1. タイムラインの成り立ち・・・・・・・・・・1
2. 令和6年度の実施（検討会以外）・・・・・・3
3. タイムライン運用実績・・・・・・・・・・5
4. 振り返りを踏まえた課題、改善策・・・・・・7
5. 検討会の実施概要・・・・・・・・・・9
6. 引き継ぎ事項・・・・・・・・・・11

1. タイムラインの成り立ち

①タイムラインとは

タイムライン（防災行動計画）とは・・・

- **住民の命を守る**、さらに**経済被害を最小化する**ことを目的に、防災に係わる組織が連携し、災害に対するそれぞれの役割や対応行動の目安をとりまとめたもの

タイムラインを構成する**3つの要素**

「いつ」 → **主な災害の発生時点から逆算した時間帯**

「何を」 → **災害の発生前に行う防災行動や被災後の対応**

「誰が」 → **防災機関や組織または住民**

タイムラインの**構成機関**



吉井川水害タイムライン・・・37機関

旭川水害タイムライン・・・44機関

高梁川水害タイムライン・・・41機関

※各水系の構成機関一覧は、解説版で確認できます。

②タイムラインの作成経緯・目的 旭川水害タイムライン策定の経緯

- 旭川は最下流部で**人口・資産が集中**する岡山市街地を貫流している。
- 防災対応においては、河川管理者の情報提供や自治体の行政対応のみではなく、**交通機関や地下街管理者の混乱を避ける事前対応**や止水板等の対応等、多くの**防災関連機関との連携が必要**である。
- このため旭川の直轄区域を対象に、中国地方整備局のリーディングプロジェクトとして岡山市、岡山県、他防災関係機関と連携し、**旭川水害タイムラインを策定した。**

<勉強会>

- | | |
|------------------|--------------|
| 第1回 近年降雨の傾向、既往洪水 | (平成28年2月23日) |
| 第2回 現地視察、リスク把握 | (平成28年3月17日) |

<検討会>

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 第1回 目標設定、行動項目の抽出 | (平成28年7月27日) |
| 第2回 行動項目の細分化、タイミングの確認 | (平成28年11月1日) |
| 第3回 素案の検討 | (平成28年12月6日) |
| 第4回 行動内容の確認、連携先の確認 | (平成29年1月17日) |
| 第5回 図上訓練（読み合せ） | (平成29年2月20日) |

旭川水害タイムライン
平成29年3月完成

②タイムラインの作成経緯・目的

高梁川・吉井川水害タイムライン策定の経緯

- 平成30年7月豪雨では、小田川の決壊をはじめとした多くの被害により、住民の逃げ遅れの発生や、多数の重要インフラの被災が発生した。
- 防災関係機関の出水対応も、**各機関が個々に対応するには限界**があり、様々な教訓が明らかになった。（次頁参照）
- このような教訓を踏まえて、**水系全体で様々な機関が連携・協力して防災・減災対策を実施する**ため、全国で初めての取組みである「**水系全体タイムライン**」を作成し運用しているところである。

H30.7豪雨により明らかになった教訓

- 降雨状況、河川水位、ダム放流状況、避難情報等の防災情報のあり方
- 河川の上・下流の水位上昇の時間差を踏まえた防災対応の実施
- 交通状況を踏まえた避難誘導等の実施

水系内の様々な関係機関が情報を共有し、連携・協力して、的確な防災対応が実現できる仕組み作りとして、**「水系全体タイムライン」**を作成

高梁川水害タイムライン
令和元年6月完成

吉井川水害タイムライン
令和2年6月完成

参考：平成30年7月豪雨における教訓（連携面）

- 平成30年7月豪雨後に実施した第9回旭川水害タイムライン検討会における出水対応振り返り結果や、高梁川水害タイムライン、吉井川水害タイムラインの作成過程において確認した主な**連携面における教訓**を以下に示す。

分類	教訓	役割
庁内の連携不足	他部局の動きがよく分からなかったため、他部局との横断的な対応ができなかった。	意思決定
	支部内で現場から上がってきた情報の共有がうまくいかなかった。	社会基盤
関係機関の連携不足	ダム放流情報（県）と避難情報（自治体）の連携がうまくできず に、住民が避難しなかった。	意思決定
	リエゾン派遣が後手になってしまい、 県や自治体との連携不足 が生じた。	意思決定
	バス会社との連携ができておらず 、情報共有に時間がかかった。	住民避難
	駅では、鉄道会社、自治体との取り決め等がなく、 帰宅困難者の安全確保がスムーズに実施できなかった 。	住民避難
	前線に伴う大雨だったため、雨域が読めなかった。 上流域の自治体との連携ができていなかったため、状況が予測できずに対応が困難 であった。	地域支援
	道路通行止め情報が、道路管理者で別れていて一括してわからなかったため、 住民の問い合わせ対応が困難 であった。	住民避難

2. 令和6年度の取組（検討会、訓練以外）

①タイムライン引き継ぎツールの周知

- タイムラインの概要や検討会の開催状況（検討会資料や開催概要）、引継ぎツール（引継ぎチェックリスト、解説動画）、タイムラインに関する質問（Q&A）が確認可能。⇒異動等により引き継ぎが必要な場合に活用

タイムラインポータルサイトから特設サイトにアクセス可能

タイムラインポータルサイトから特設サイトにアクセス可能

タイムライン特設サイト
トップページが表示
上記タブで情報を切り替え

検討会の開催状況

検討会の開催状況

タイムライン引き継ぎツール

タイムライン引き継ぎツール

タイムラインに関する質問

タイムラインに関する質問

②改善したタイムライン発動条件の試行・検証（継続）

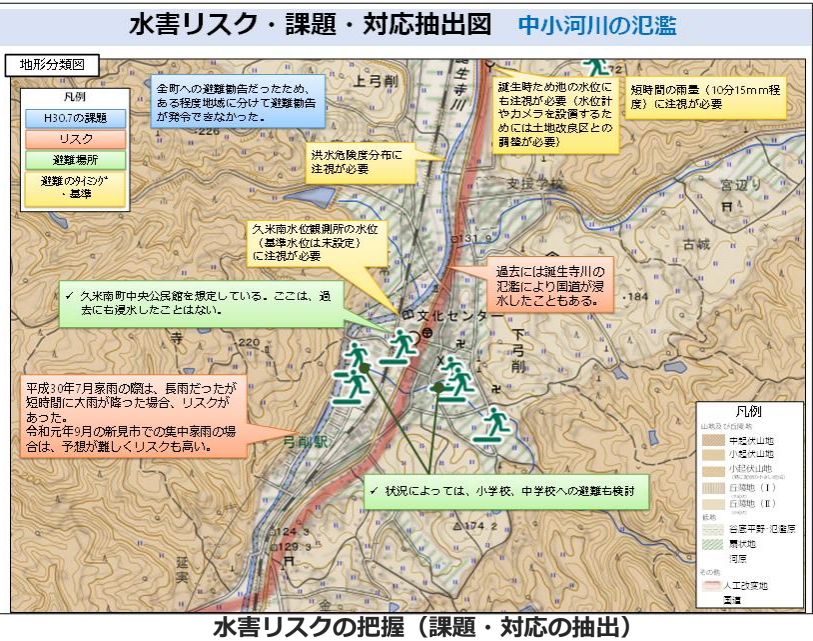
- タイムライン発動基準を、早期注意情報（警報級の可能性）かつ府県気象情報の発表とし、確度が高い状況に絞ってタイムラインを発動する。

タイムライン発動基準の改善

タイムライン レベル	気象予警報、河川情報、水位超過、現象等の目安	
	洪水・内水	土砂災害
レベル0-1 (3日前準備)	・ 台風：3日後に台風が高梁川流域に影響するおそれ ・ 前線：早期注意情報（警報級の可能性）【目安：3日後に影響】 かつ 府県気象情報の発表	
レベル0-2 (2日前準備)	・ 台風：2日後に台風が高梁川流域に影響するおそれ ・ 前線：早期注意情報（警報級の可能性）【目安：2日後に影響】 かつ 府県気象情報の発表	
レベル1	・ 早期注意情報（翌日までの警報級の可能性）【目安：1日後に影響】 かつ 府県気象情報の発表	

③自治体版タイムラインの策定促進

- 自治体版タイムライン策定勉強会として、河川毎のタイムラインを活用し自治体版タイムラインを作成した美咲町及び久米南町における自治体版タイムラインの策定の流れを解説（R7.3.7）



久米南町版タイムライン(素案)

【補録】以降のレベルでタイムライン策定部まで継承する行動

レベル	目標	情報・状況	行政機関(県・市町村)	行政機関(町・市町村)	チャネル	行動実施内容	実施状況	備考
1	避難勧告	大雨・台風による浸水・土砂災害の発生	気象・台風情報の収集【継続】	気象・台風情報の収集【継続】	1. 気象・台風情報の収集【継続】	気象・台風情報の収集【継続】	○	気象・台風情報の収集【継続】
2	避難指示	大雨・台風による浸水・土砂災害の発生	気象・台風情報の収集【継続】	気象・台風情報の収集【継続】	2. 気象・台風情報の収集【継続】	気象・台風情報の収集【継続】	○	気象・台風情報の収集【継続】
3	避難勧告	大雨・台風による浸水・土砂災害の発生	気象・台風情報の収集【継続】	気象・台風情報の収集【継続】	3. 気象・台風情報の収集【継続】	気象・台風情報の収集【継続】	○	気象・台風情報の収集【継続】
4	避難指示	大雨・台風による浸水・土砂災害の発生	気象・台風情報の収集【継続】	気象・台風情報の収集【継続】	4. 気象・台風情報の収集【継続】	気象・台風情報の収集【継続】	○	気象・台風情報の収集【継続】
5	避難勧告	大雨・台風による浸水・土砂災害の発生	気象・台風情報の収集【継続】	気象・台風情報の収集【継続】	5. 気象・台風情報の収集【継続】	気象・台風情報の収集【継続】	○	気象・台風情報の収集【継続】
6	避難指示	大雨・台風による浸水・土砂災害の発生	気象・台風情報の収集【継続】	気象・台風情報の収集【継続】	6. 気象・台風情報の収集【継続】	気象・台風情報の収集【継続】	○	気象・台風情報の収集【継続】
7	避難勧告	大雨・台風による浸水・土砂災害の発生	気象・台風情報の収集【継続】	気象・台風情報の収集【継続】	7. 気象・台風情報の収集【継続】	気象・台風情報の収集【継続】	○	気象・台風情報の収集【継続】
8	避難指示	大雨・台風による浸水・土砂災害の発生	気象・台風情報の収集【継続】	気象・台風情報の収集【継続】	8. 気象・台風情報の収集【継続】	気象・台風情報の収集【継続】	○	気象・台風情報の収集【継続】
9	避難勧告	大雨・台風による浸水・土砂災害の発生	気象・台風情報の収集【継続】	気象・台風情報の収集【継続】	9. 気象・台風情報の収集【継続】	気象・台風情報の収集【継続】	○	気象・台風情報の収集【継続】
10	避難指示	大雨・台風による浸水・土砂災害の発生	気象・台風情報の収集【継続】	気象・台風情報の収集【継続】	10. 気象・台風情報の収集【継続】	気象・台風情報の収集【継続】	○	気象・台風情報の収集【継続】

④ウェビナーによるポータルサイトの活用方法の周知

- 令和6年度は、出水対応時におけるタイムラインの有効活用を目指し、タイムラインやポータルサイトに対する理解を深めるためのウェビナーを開催（令和6年7月10日(水)、7月17日（水））

令和6年度のウェビナーの概要

<ウェビナーのポイント>

- 検討会において詳しく説明できなかった内容を補足
- 参加者の理解度や経験に応じて参加できるよう実施
- 少人数で気軽に疑問点や不明点を質問できるよう、3回開催

<ウェビナーのコース・内容>

コース	ウェビナーの内容	主な対象者
実践	水害シナリオに沿ったタイムラインポータルサイト操作演習	システム未活用者

<参加者の意見>

分類	感想・意見
ポータルサイト	✓ 防災行動共有システムの表形式への登録において、操作性の悪い箇所があったので、改良ができるのであればお願いしたい。

<開催日毎の参加機関>

7/10(水)11:00~11:50

岡山河川事務所、岡山地方気象台、岡山市、玉野市、高梁市、新見市、新庄村、真庭市、倉敷市、和気町、矢掛町、勝央町、美咲町、中国電力、テレビせとうち、岡山ガス

計16機関

7/17(水)11:00~11:50

岡山河川事務所、岡山市、矢掛町、浅口市、里庄町、エフエムくらしき、苦田ダム管理所

計7機関

7/17(水)13:00~13:50

岡山河川事務所、岡山県、岡山市、新見市、西日本放送、笠岡放送、苦田ダム管理所

計7機関

<ウェビナーの様子>



3. タイムライン運用実績

①令和6年度における タイムラインの運用状況

■ 吉井川・旭川・高梁川水害タイムラインは、令和6年度に計8回発動した。

令和6年度におけるタイムラインの運用状況

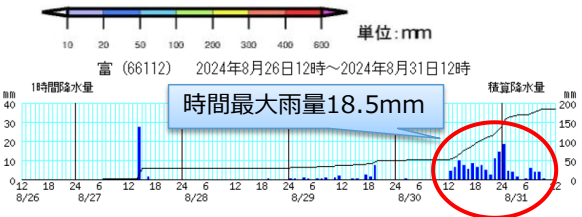
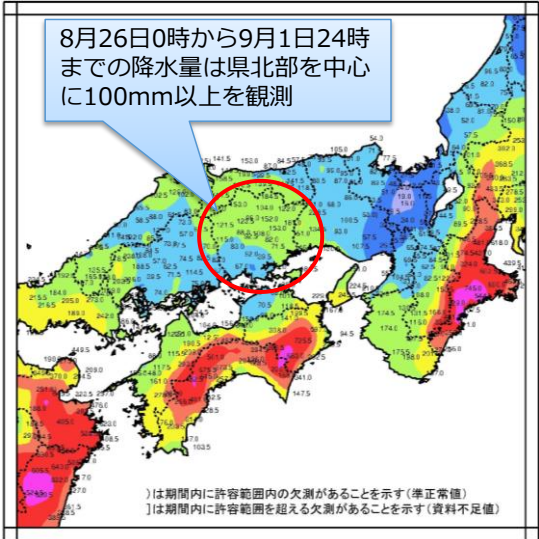
	発動期間	要因	レベル※
1	5.28～5.29	前線による大雨（早期注意情報）	1
2	6.17～6.18	前線による大雨（早期注意情報）	0－2
3	6.21～6.24	前線による大雨（早期注意情報）	0－2
4	6.27～7.2	前線による大雨（早期注意情報）	0－2
5	7.10～7.17	前線による大雨（早期注意情報）	0－2
6	8.23～9.2	台風第10号の接近	0－1
7	9.20～9.24	前線による大雨（早期注意情報）	0－1
8	11.1～11.5	台風第21号の影響による大雨	0－2

※事務局からのタイムラインレベルの発信に限定

②台風第10号：出水概要

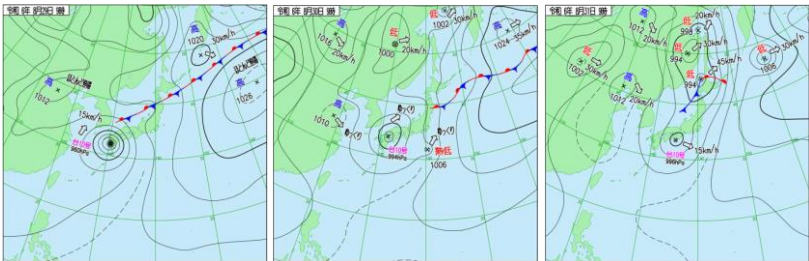
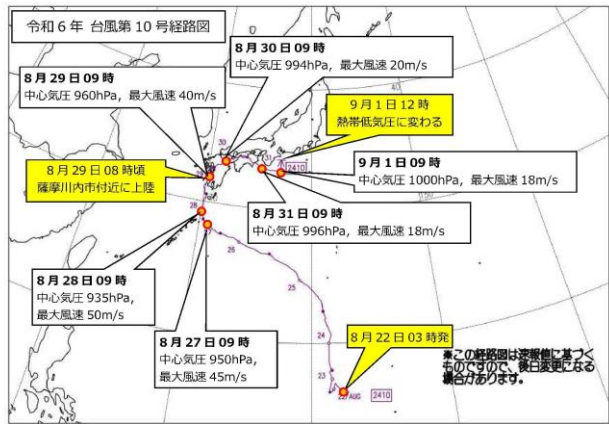
■ 岡山県では、8月30日夜から31日未明にかけて台風第10号が接近し、鏡野町雨量観測所（富）では、時間最大雨量18.5mmのやや強い雨を観測した。

○アメダス期間降水量（8月26日00時～9月1日24時）



1. 気象状況

(1) 台風経路図・台風位置表



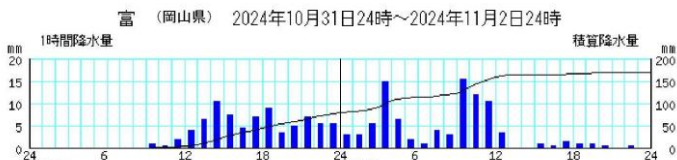
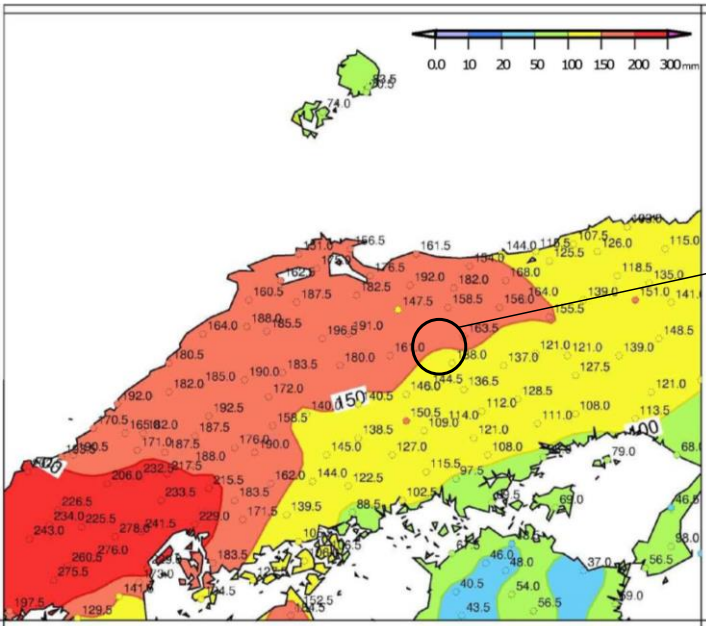
出典：令和6年台風第10号による大雨、暴風及び突風（気象庁）

令和6年8月26日から9月1日にかけての台風第10号による大雨について（大阪管区気象台）

③11月1日からの大雨：出水概要

■ 11月1日から2日までの総降水量は、富（鏡野町）で169.5mmを観測し、時間最大雨量15.5mmのやや強い雨を観測した。

○アメダス期間降水量（11月1日08時～11月2日15時）



出典：令和6年11月1日から2日にかけての前線と低気圧による大雨について（広島地方気象台）
令和6年11月1日から11月2日にかけての前線と低気圧による大雨について（大阪管区気象台）

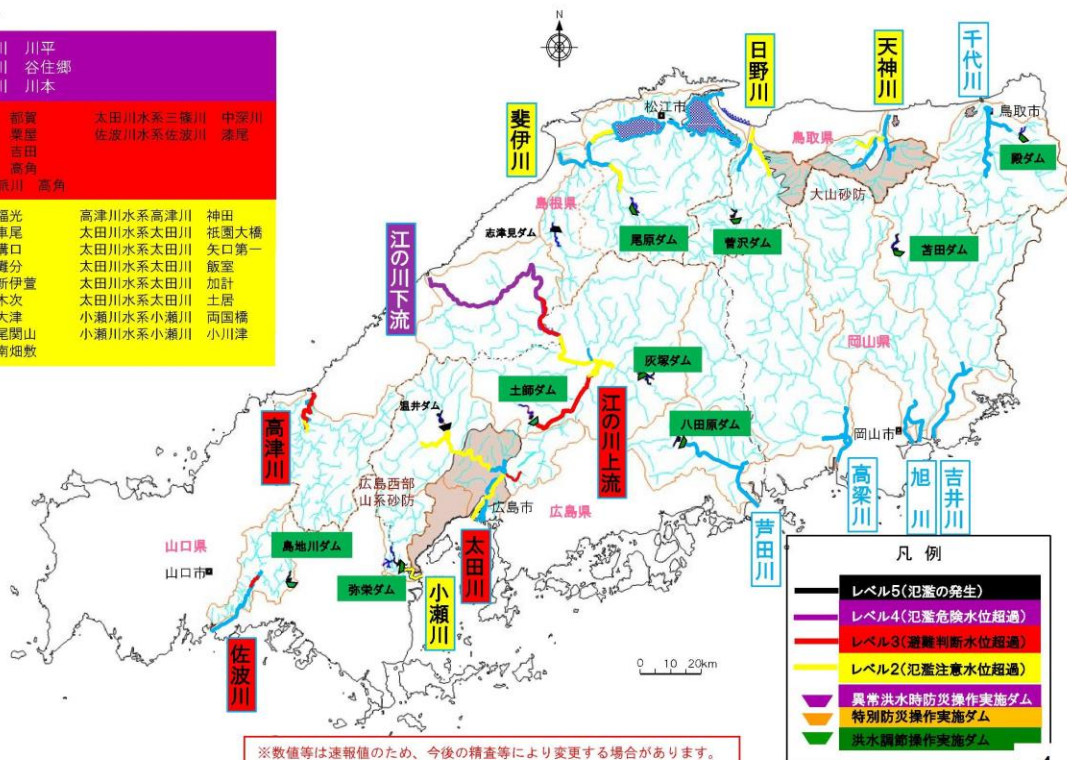
国管理河川の状況

国土を築き、金力で備える
国土交通省
中国地方整備局

■ 今回の出水では国管理河川において1水系1河川3観測所で「氾濫危険水位」を超過、4水系5河川7観測所で「避難判断水位」を超過、7水系8河川17観測所で「氾濫注意水位」を超過しました。

■ 河川出水状況（国管理区間）

★レベル4 氾濫危険水位超過 1水系1河川 3観測所	江の川水系江の川 江の川水系江の川 江の川水系江の川	川平 谷住郷 川本
★レベル3 避難判断水位超過 4水系5河川 7観測所	江の川水系江の川 江の川水系江の川 江の川水系江の川 高津川水系高津川 高津川水系高津川	都賀 栗屋 吉田 高角 高角
★レベル2 氾濫注意水位超過 7水系8河川 17観測所	天神川水系国府川 日野川水系日野川 日野川水系日野川 斐伊川水系斐伊川 斐伊川水系斐伊川 江の川水系江の川 江の川水系江の川 江の川水系馬洗川	福光 車尾 溝口 瀬分 新伊賀 木次 大津 尾関山 南畑敷
	高津川水系高津川 太田川水系太田川 太田川水系太田川 太田川水系太田川 小瀬川水系小瀬川 小瀬川水系小瀬川	神田 祇園大橋 矢口第一 飯室 加計 土居 両国橋 小川津



※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

出典：令和6年11月1日から11月2日にかけての大雨 中国地方整備局管内の出水概況【第2報】

4. 振り返りを踏まえた課題、改善策

振り返りアンケート、検討会を踏まえた改善の方向性

① タイムラインの運用について

項目	アンケート結果	今後の方針
タイムラインの理解促進・引き継ぎ	タイムラインの理解促進・引継ぎに効果的だった取組として、「 出水期に向けた検討会 」と「 タイムラインの解説動画 」が多く挙げられた。	タイムラインに対する理解度を向上させる取組を、 次年度以降も継続的に実施 する。
タイムライン発動メールの活用状況	タイムライン発動メール を確認した機関は、どの出水においても 9割程度 と、 すべての機関が確認できていなかった 。また、メールの内容は、主に体制確立や防災行動のきっかけとして活用された。	タイムライン発動メールを、 次年度以降も継続的に運用 する。

② 防災行動について

項目	アンケート結果	今後の方針
出水対応の課題	予測が困難となる台風・突発的な豪雨への対応 や、 非出水期における出水期同様の備え が挙げられた。	次年度以降も 異常気象を前提、各機関での備え や円滑な対応に向けた タイムラインの活用 を継続する。
タイムラインの活用状況	タイムラインを活用した機関は、 約6割 となった。 活用しなかった理由としては、 大きな出水ではなかったことや自機関の計画等による対応、他システムでの対応 が挙げられた。	円滑な出水対応に向けてタイムラインを有効活用するために、出水期前検討会や読み合わせ訓練による、 タイムラインの活用方法の理解促進 を継続する。
自治体版タイムライン	自治体版タイムラインを作成済の自治体は、約6割にとどまった。また、6自治体が勉強会の開催を希望した。	さらなる自治体版タイムラインの作成促進のため、 勉強会を開催 する。

③ 防災情報、防災行動の共有

 ：次頁で詳細

項目	アンケート結果	今後の方針
システム利用状況	マルチ画面・リンク集・防災行動共有システムの活用率は、 1～4割程度 となった。	ポータルサイトの各種機能や活用方法の周知・訓練のため、ウェビナーやシステム操作演習を 次年度以降も継続的に実施 する。
防災行動共有システム（図形式）の改善点	自治体や災害事象の 枠色の判定基準 が分かりにくいといった意見が一部挙げられた。	防災行動共有システム図形式の、わかりやすさを改善
情報・防災行動の共有の必要性	メールマークがある防災行動項目に関する情報共有の必要性は、 わからないとの回答が約5割 となった。	現在の メールマークの意図・経緯を説明 するとともに、 共有すべき情報・行動を精査 し、防災行動共有システム表形式にポップアップによる 登録喚起機能 を追加

防災行動共有システム表形式の改善の方向性

- **逃げ遅れゼロ、経済被害の最小化**の観点からタイムラインの取組として共有が重要な項目を**8種類**
- 防災行動項目の**登録手間の削減**や、**重要防災行動の実施・共有漏れを防ぐ**ため、ポップアップによる**登録喚起機能**を構築する

9/10 20:40

◆道路冠水状況、道路規制情報

タイムラインレベル3になりました。道路冠水を確認した場合は、防災行動共有システムに登録をお願いします。

実施済
実施しない
テロップ登録

明確なトリガーがない行動項目は、タイムラインレベルの移行により**赤枠ポップアップ**

9/10 20:40

◆高齢者等避難の発令

〇〇市に高齢者等避難が発令されたことを確認し、防災行動共有システムに登録しました。

確認

防災行動項目の実施が、本システムで受信できる行動は、受信したタイミングで**青枠ポップアップ**（確認のみ）

共有すべき情報・行動の確認結果
①タイムラインレベル、今後の方針
②災害対策本部等の設置
③ダム放流通知
④内水氾濫発生状況
⑤堤防決壊、氾濫情報
⑥指定避難所の開設
⑦住民への注意喚起、避難情報
⑧道路冠水状況、道路規制情報

：他システムへの登録情報によりポップアップが表示

- ✓ ポップアップの実施登録により、防災行動共有システムへの登録が完了
- ✓ ポップアップのテロップ登録により、テロップに例文が自動表示され、修文のうえで登録が完了

防災行動共有システム図形式の改善の方向性

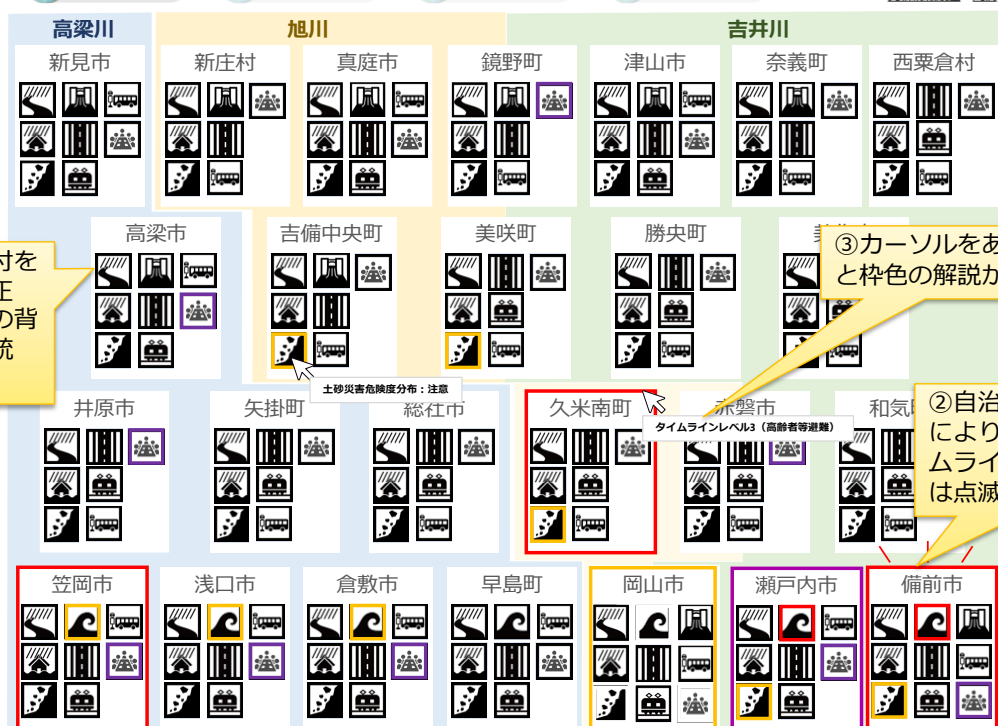
- 以下の3点を改良し、図形式の見やすさを改善

吉井川・旭川・高梁川水害タイムラインポータルサイト

更新時刻：2025/2/7 14:48

防災行動共有システム（図形式） 気象・水害情報マルチ画面 関連機関HPリンク集 防災行動共有システム

トップページ 更新情報履歴 凡例



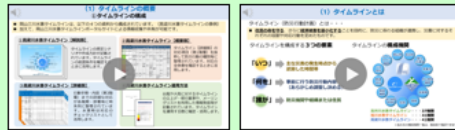
5. 検討会の実施概要

令和6年度出水期に向けた 吉井川・旭川・高梁川水害タイムライン検討会を開催

○令和6年度の出水期におけるタイムラインを有効活用した円滑な出水対応に向けて、
吉井川・旭川・高梁川水害タイムライン検討会を開催（令和6年6月3日（月）13:45～14:45）
○検討会では、タイムラインの概要や運用方法、令和5年度からの改善状況、留意点等を確認するとともに、タイムラインポータルサイトの操作説明のためのウェビナーの開催について説明。

<タイムラインの概要説明>

- ▶ タイムライン引き継ぎツールとして作成した「タイムライン解説動画」を用いて、タイムラインの概要や運用・活用方法を確認。



<タイムライン解説動画>

<令和5年度の運用結果と出水状況>

- ▶ 鏡野町や津山市など県北部を中心に浸水や河川護岸被害が発生した令和5年台風第7号の出水を中心に振り返り。



<令和5年台風第7号の出水状況>

<タイムラインの運用上の留意点と対応>

- ▶ タイムラインの有効活用に向けた留意点や各機関の対応事項を確認。



会議開催状況

タイムラインは、平成30年7月豪雨のノウハウの塊である。人が変わり組織も変わり、ノウハウの引き継ぎが薄れていく中で、このタイムラインを活用して頂きたい。（西山座長）



西山座長
（吉井川・高梁川）

岡山市内が冠水した室戸台風から今年で90年が経過する。昨今の気候変動も踏まえると室戸台風に近い浸水被害が生じる可能性も高いため、普段からタイムラインを運用できるように準備して頂きたい。（前野アドバイザー）



前野アドバイザー

- ①タイムラインと既存計画との関係性・留意点：タイムラインと既存計画との**整合を確認**
- ②タイムラインの立上げ：メールが受信できるよう、**担当者や宛先が変わっていないか確認**
- ③タイムラインレベルの移行：**タイムラインレベル移行状況の把握方法を確認**
- ④タイムライン行動項目の確認：**各機関でタイムラインの防災行動項目を確認**
- ⑤出水対応における課題・改善点の記録：出水対応中に把握した**課題・改善点は記録**

【参加機関】

岡山市、真庭市、鏡野町、久米南町、倉敷市、井原市、高梁市、新見市、浅口市、矢掛町、笠岡市、津山市、備前市、瀬戸内市、和気町、勝央町、西栗倉村、岡山県警察本部、岡山地方気象台、中国電力、中国電力ネットワーク、西日本電信電話、岡山ガス、津山ガス、山陽SC開発、西日本旅客鉄道、水島臨海鉄道、岡山バス協会、両備ホールディングス、日本放送岡山放送局、テレビせとうち、エフエムゆめウェーブ、岡山県、中国四国農政局、苫田ダム管理所、岡山河川事務所

【オブザーバー】里庄町、広島県

38機関

令和6年度吉井川・旭川・高梁川水害タイムライン読合せ訓練を開催

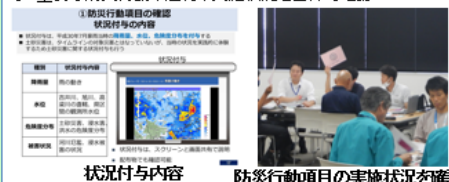
○防災行動項目やシステムの活用方法を再確認することを目的に、吉井川・旭川・高梁川水害タイムライン読合せ訓練を開催（令和6年9月27日（金）13:15～15:15）
○読合せ訓練の冒頭では、平成30年7月豪雨の振り返りについて前野アドバイザーから解説し、台風や線状降水帯に対する危機感を共有
○読合せ訓練では、平成30年7月豪雨に沿った防災行動項目の確認と、令和6年台風10号を題材とした防災行動共有システムの説明・操作を実施し、防災対応のイメージを改めて共有

<前野アドバイザーからの話題提供>

- ▶ 平成30年7月豪雨の特徴について解説
- <タイムライン・ポータルサイトについて>
- ▶ タイムラインの概要・目的と運用方法、ポータルサイト操作方法を再確認
- <読合せ訓練>
- ▶ 平成30年7月豪雨の時間軸に沿った防災行動項目の確認
- ▶ 令和6年台風第10号を題材とした防災行動共有システムの説明および操作訓練

防災行動項目の確認

- ① 平成30年7月豪雨当時の状況付与をともに、自機関で実施する防災行動項目を確認
- ② 重要な防災行動項目は、実施状況を全体で確認



状況付与内容

防災行動項目の実施状況を確認

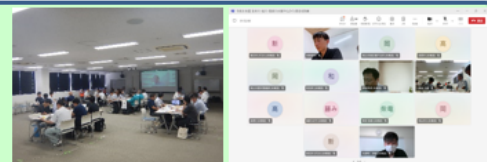
防災行動共有システムの説明および操作

- ① 令和6年台風第10号時の防災行動共有システムの表示状況とともに、各機能を説明
- ② 防災行動共有システムの確認機能、登録機能、発信機能を実際に操作

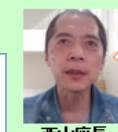


システム操作状況

発信機能のテスト発信



会議開催状況（対面+Web）



西山座長
（吉井川・高梁川）

防災行動共有システムは平成30年7月豪雨の反省をふまえて作成したものである。住民の命・財産を守るという観点から、いかに情報を早く、正確に集められるかが重要であるため、システムを活用すると共に改善し続けて頂きたい。（西山座長）



前野アドバイザー

いざという時に確実にタイムラインに沿った行動を取っていただけるように、防災行動共有システムがあるので、ご活用頂きたい。（前野アドバイザー）

【参加機関】

岡山市、真庭市、新庄村、倉敷市、井原市、高梁市、新見市、矢掛町、津山市、瀬戸内市、赤磐市、美作市、和気町、勝央町、奈義町、西栗倉村、里庄町、岡山県、広島県、岡山県警察本部、岡山地方気象台、中国電力、中国電力ネットワーク、西日本電信電話、岡山ガス、津山ガス、西日本旅客鉄道、井原鉄道、水島臨海鉄道、岡山バス協会、両備ホールディングス、日本放送岡山放送局、テレビせとうち、エフエムゆめウェーブ、中国四国農政局、高梁川川水土地改良区、苫田ダム管理所、岡山河川事務所

34機関

令和6年度吉井川・旭川・高梁川水害タイムライン振返り検討会を開催

- 令和6年度の出水期の振返りやタイムラインの改善に向けた意見交換を目的とした、吉井川・旭川・高梁川水害タイムライン検討会を開催(令和6年12月11日(水)13:15~15:15)
- 振返り検討会では、令和6年度の出水概要として、タイムラインの運用状況や、台風第10号の被害状況、全国の水害を振返るとともに、事前に実施した振返りアンケート結果を確認
- 出水対応の振返りでは、共有すべき情報・行動の精査と、防災行動共有システムの改善の方向性について、意見交換を実施

<出水対応の振返り>

- 本年度の出水概要や振返りアンケート結果を踏まえ、
- ①各機関で共有すべき情報・行動を精査
- ②防災行動共有システムの改善の方向性について議論

テーマ	主な意見
①共有すべき情報・行動の精査	・項目が多いため、必要な情報の集約化・絞り込みが必要 ・共有すべき情報が多く、システムを操作しながら、逐次多量の情報を確認することは困難であるため、情報の絞り込みには賛成 ・鉄道やバス等の公共交通機関の情報をメールで共有してもらえるとありがたい ・重要な項目は印があるとわかりやすい
②防災行動共有システムの改善の方向性	・表形式の項目が多いため、絞り込みが必要 ・安易に項目を削るのではなく、項目はそのまま残しておいて、入力等が必要な重要項目を絞り込むのがよい ・図形式について、背景の色と注意報や危険度分布等の色が被っているため、改善が必要 ・気象情報等の自動で更新される情報と、避難指示等の自治体が入力する情報が混在しているため、分けて表示されるとよい

<テーマ①>

テーマ1：共有すべき情報・行動の精査

共有すべき情報・行動(メールマーク)の再確認

■各機関でタイムライン図面版(メールマーク)で共有すべき情報・行動を再確認し、改めて共有する必要がある項目をピックアップ

共有が必要な情報・行動を確認



会議開催状況(対面+Web)



西山座長(吉井川・高梁川) 前野アドバイザー

<テーマ②>

テーマ2：防災行動共有システムの改善の方向性について

防災行動共有システム図面版の改善の方向性

■前回のアンケートから、防災行動共有システム(図面版)について、各機関で共有する情報の整理が求められていることが確認された。



システムの改善について議論

住民の命や生活、社会を守ることができる仕組みや役割をもう一度考えていく必要がある。来年度に向けて改善を図っていくので、今後も積極的に参加し、意見等をいただきたい(西山座長)

タイムラインを作成していない自治体のみみられるため、作成を検討してもらいたい。水害タイムラインと自治体版タイムラインを連携させることで漏れのない防災行動をとってほしい(前野アドバイザー)

【参加機関】

岡山市、真庭市、新庄村、美咲町、倉敷市、井原市、高梁市、浅口市、矢掛町、津山市、備前市、赤磐市、勝央町、奈義町、岡山県警察本部、岡山地方気象台、中国電力、西日本電信電話、岡山ガス、山陽SC開発、テレビせとうち、岡山県、中国四国農政局、岡山河川事務所

【オブザーバー】玉野市、広島県

26機関

令和6年度吉井川・旭川・高梁川水害タイムライン改善検討会を開催

- 令和6年度の出水対応の振返りを踏まえたタイムラインの改善を目的とした、吉井川・旭川・高梁川水害タイムライン検討会を開催(令和7年3月7日(金)10:00~11:00)
- 改善検討会では、振返りアンケートや振返り検討会を踏まえた防災行動共有システムの改善の方向性について、意見交換を実施

<振返りを踏まえた改善の方向性>

○防災行動共有システム表形式

- 共有すべき情報・行動に絞り込んだ上で防災行動の登録を促す機能を構築

○防災行動共有システム図形式

- 背景色の変更
- 避難情報に該当するレベル3, 4の色枠を点滅表示
- ロカーソルをあてることで枠の色の解説を表示

防災行動共有システム(表形式・図形式)の改善案



<座長・アドバイザー挨拶>



西山座長(吉井川・高梁川) 前野アドバイザー

今回の検討会では、前回の振返り検討会を踏まえたシステムの改善の方向性について、事務局から提案がある。皆さまに関係することなので、是非活発な議論をさせていただいて、よりよい改善をしていただきたい。(西山座長)

来年度から防災行動共有システムの改善が図られるため、引継ぎは重要となる。各機関で内容を確認し、積極的に活用してほしい。(前野アドバイザー)



会議開催状況(対面+Web)

【参加機関】

岡山市、笠岡市、鏡野町、美咲町、倉敷市、井原市、高梁市、浅口市、矢掛町、津山市、瀬戸内市、早島町、赤磐市、勝央町、吉備中央町、岡山県警察本部、岡山地方気象台、中国電力、中国電力ネットワーク、西日本電信電話、岡山ガス、エフエムゆめウェブ、陸上自衛隊 日本原駐屯地、岡山県、中国四国農政局、苫田ダム管理所、岡山河川事務所

【オブザーバー】里庄町

28機関

6. 引き継ぎ事項

吉井川・旭川・高梁川水害タイムライン 引き継ぎチェックリスト

異動等により担当者が変更となった場合、以下のチェック項目を参考に引き継ぎをお願いします。

No	チェック項目	参照資料	チェック
1	タイムラインメーリングリストの登録変更、次期担当者への周知	※岡山河川事務所へ連絡	☐
2	タイムラインの概要	タイムライン特設サイト タイムライン解説動画（導入編）	☐
3	タイムライン検討会の設置要綱	タイムライン特設サイト	☐
4	タイムラインが想定する被害	タイムライン解説動画（導入編） タイムライン解説版	☐
5	タイムラインにおける各機関の役割	タイムライン解説動画（導入編）	☐
6	タイムラインの運用方法	タイムライン解説動画（活用編） タイムライン運用方法	☐
7	ポータルサイト（防災行動共有システム、マルチ画面、リンク集）の概要	ポータルサイト	☐
8	ポータルサイト（防災行動共有システム、マルチ画面、リンク集）の操作方法	ポータルサイト操作マニュアル	☐
9	自機関の防災行動項目	タイムライン（詳細版、総括表）	☐
10	他機関への情報伝達内容	タイムライン（詳細版メールマーク）	☐
11	前回検討会における議論の内容、改善の方向性等	検討会資料 タイムライン特設サイト	☐
12			☐
13			☐



吉井川・旭川・高梁川 水害タイムライン ポータルサイト

[ポータルサイトの操作マニュアル](#)



気象・水象情報
マルチ画面

水位監視・雨量監視に特化した情報の集約

■タイムラインレベルに応じた複数の防災・気象情報を一度に同時に見たい時に活用



関係機関
HP リンク集

防災行動に必要な様々な情報の集約

■防災行動に役立つ様々な情報を確認したい時に活用



防災行動
共有システム

タイムラインの運用を円滑化するために必要な情報・機能の集約

■タイムラインの閲覧やタイムラインレベルの確認、タイムラインに基づく対応状況の共有に活用

[吉井川・旭川・高梁川水害タイムライン特設サイト](#)

URL : http://bousaikoudou.jpn.org/okayama_portal/



国土交通省中国地方整備局
岡山河川事務所
Okayama River Management Office

吉井川・旭川・高梁川水害タイムライン

トップページ

タイムラインの
概要

検討会の開催状況

タイムライン
引継ぎツール

タイムラインに
関する質問 (Q&A)

新着情報

- ・2023.6.23、7.4、7.13 ウェビナーを開催しました。（開催概要、基礎コース、活用コース、実践コース）
- ・2023.6.16 吉井川・高梁川第15回、旭川第23回水害タイムライン検討会を開催しました。
- ・2023.3.13 吉井川・高梁川第14回、旭川第22回水害タイムライン検討会を開催しました。
- ・2023.1.12 吉井川・高梁川第13回、旭川第21回水害タイムライン検討会を開催しました。

タイムラインにより、住民の命を守り
経済被害の最小化を目指す。



吉井川水害タイムライン



旭川水害タイムライン



高梁川水害タイムライン



URL : http://bousaikoudou.jpn.org/okayama_portal/timeline_site/